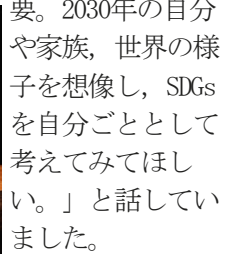
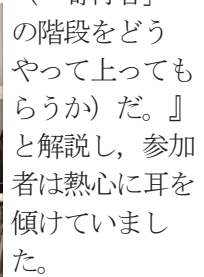




フォーラムでは、SDGsの考え方について（一社）SDGs市民社会ネットワークの新田事務局長が講演。（特非）盛岡YMCAの濱塚氏と（一社）盛岡青年会議所理事長の伊藤氏によるSDGsの活用事例紹介がなされた後、三者による対談が行われました。新田氏は「皆がどれだけ真剣になれるかが重要。2030年の自分や家族、世界の様子を想像し、SDGsを自分ごととして考えてみてほしい。」と話していました。



石井理事は、『誰しもが最初は「潜在層」であるが、そこから何かしらの刺激を受けて「参加者」となり、最終的には「寄付者」となり得る。重要なのは、「潜在層」をいかにして取り込むか（「寄付者」への階段をどうやって上つてもらうか）だ。』と解説し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



渋民駅には、今回
 設置された看板
 (右)と、これまで
 設置されていた旧看
 板(左)が並んで
 立っています。駅員
 さん曰く、旧看板は
 20年以上も前に設置
 されたものであると
 のことです。

詳しくは、盛岡市公式ＨＰを御覧ください。
(ページ番号：1022498)

町内会・自治会
也大活躍！

スポーツの秋！



いわて盛岡シティマラソン2019

10月27日（日），盛岡で初となるフルマラソン大会「いわて盛岡シティマラソン2019」（主催：同実行委員会）が開催されました。

市制施行130周年を記念して華々しく開催された同大会には，県内外から事前に1万人を超すエントリーがあり，中には海外からの出場を決めたランナーも。当日は，フルマラソン，ファンラン（8.8km），ペアラン（2.5km）の3種目に，合計9,230人が参加しました。

フルマラソンには6,258人が出走。午前9時にスタート地点である岩手大学で号砲が鳴ると，ランナー達は官庁街のある中央通りや盛岡駅といった市内中心部を通過し，折り返し地点となる御所湖へ歩を進めました。その後，盛岡市立高校，上太田グラウンドを通りゴール地点である盛岡市中央公園へ。

ゴール地点では，フルマラソンの完走者に盛岡三大麺がふるまわれ，ランナー達は疲れた身体を盛岡グルメで癒していました。

フルマラソンのコース上には13か所の給水所が設けられ，水やスポーツドリンクのほか，県産米を使った塩むすびや福田パン，盛岡りんごといった岩手の特産品もふるまわれました。

各給水所には，地元町内会を中心とした多くのボランティアスタッフが詰めかけ，盛岡の街を駆けるランナー達を温かくもてなしました。

ウラ



オモテ



フルマラソンを規定時間内に完走した人に送られた「完走メダル」。このメダルは，盛岡市を代表する伝統工芸品であり，海外からも根強い人気がある南部鉄器でできています。

START!

FULL MARATHON COURSE

WATER
STATION

FULL MARATHON COURSE

GOAL!

EXPO

スタート地点(岩手大学)【0km】



スタート前給水でスポーツドリンクをふるまう上田地域活動推進会のボランティアスタッフの皆さん。多くのランナーが立ち寄り，スタート前に喉を潤しました。

第4給水所(樋下建設本社前)【12.4km】



食べやすいよう，1/8サイズにカットした盛岡りんごをふるまう地元町内会（下川原，下太田新田，大宮）の皆さん。みずみずしい盛岡りんごはとても好評でした。

ゴール地点(中央公園)【42.195km】



フルマラソンの完走者にふるまわれた盛岡三大麺（盛岡そば，盛岡冷麺，じゃじゃ麺）。盛岡青年会議所の皆さんがボランティアとして活躍しました。

EXPO会場(タカヤアリーナ)



EXPO会場となったタカヤアリーナに設置されたエコステーション。本宮二丁目町内会のボランティアの方々が中心となり，ゴミの分別を呼びかけました。

松園グラウンドゴルフ大会

9月19日（木），グラウンドゴルフ交流大会が，小鹿（おか）公園（三ツ割字深沢）東屋前の広場と多目的広場で開催されました。主催は，松園地区まちづくり委員会（工藤健一委員長）。この大会は，「松園地区地域づくり計画」に掲げられた事業であり，小鹿牧場の有効活用を図ることを目的として，開催されています。

当日は，松園地区のほか，みたけ，山岸，上田堤のグラウンドゴルフ愛好家の方も参加し，プレーを楽しみました。

同委員会は，花とみどりが豊かで，自然と調和しているまちづくりのため，大会前には，近隣町内会等のボランティアと協力して，会場の草刈りを行ったほか，一年を通して小鹿公園が楽しめるよう，ヒマワリやミズバショウの植栽なども行っています。



乙部グラウンドゴルフ大会

9月30日（月），乙部地区交流グラウンドゴルフ大会が，大ケ生17地割（金山萬寿抗グラウンドゴルフ場）で開催されました。主催は，乙部地域協働のまちづくり事業推進委員会（佐々木章一会長）。この大会は，「乙部地区まちづくり計画」に掲げられた事業であり，地域住民の健康づくりや交流を目的として，開催されています。

参加者は，乙部川のせせらぎの音や鳥のさえずりを聞きながら，和やかな雰囲気プレーを楽しんでいました。

同推進委員会は，この交流大会の開催のほか，ニュースポーツの用具整備や，ゲートボール場の整備，黒森山登山道の整備，乙部地区総合スポーツ大会の推進なども行っています。

